



## 京都部会(第 27 回)

日 時: 2014 年 12 月 13 日(土) 17:00~19:00

場 所: 同志社大学 良心館

参加者: 篠原総一(同志社大学)、下村和平(山城高校)、奥村光太郎(龍谷大学)、河原勝彦(久御山  
中学校)、西村理(同志社大学)、上畑直久(京都市総合教育センター)、中藤勉(東宇治高校)、  
絹川温子(同志社大学)【順不同】

### 【内容要旨】

- (1) 経済教育ネットワークの篠原総一代表者から来年早々に実施予定のスケジュールが報告された。  
まず、名古屋での東京証券取引所と共催の「冬休み経済教室」(1 月 31 日)。埼玉県川口市でのワ  
ークショップ(2 月 14 日)。これは、昨年大雪のため中止になったので再度開催されることになった。  
そして、東京・日本大学での「年次大会」(3 月 28 日)。また、東京部会や大阪部会で提示された中  
学校や高等学校で行われた試験問題についての紹介があった。
- (2) 次に、上畑直久氏から社会科学習指導案として「古都奈良・京都と歴史的景観の保全」が取り上げ  
られた。生徒たちに歴史的景観を保全することの大切さは直感的に理解できるが、それを経済的な  
評価に結び付けて理解させることの難しさが指摘された。
- (3) 引き続き、中藤勉氏と下村和平氏から高等学校で出題した政治・経済の試験問題が紹介された。  
出題形式の中に記述の正しい文章と誤っている文章を交えた問題が出題され、その記述の正誤の  
組み合わせを選択させる場合の正答率は低くなる。また、複数の教員で科目を担当している場合、  
試験問題を作成する調整が大変だという報告もあった。

(文責: 西村理)

次回開催予定: 2015 年 2 月 20 日(金) 19:00~21:00 (同志社大学 良心館)